

視界共有を伴う遠隔支援サービスをスマートフォンで利用可能に ～技術特許を取得したXR技術を活用して、対象物のみを映像共有～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、スマートグラスを通じた視界共有を伴う遠隔支援サービスを以前より提供しておりましたが、より多くのお客様にお気軽にお使いいただけるよう、2023年12月11日よりスマートフォンでも利用可能とします。

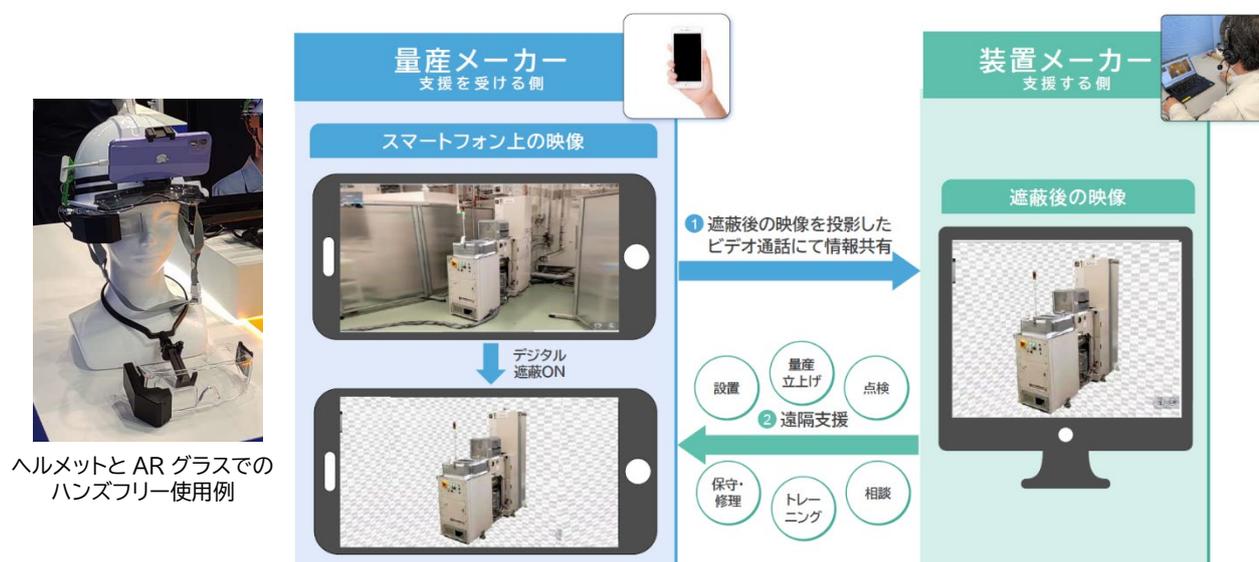
XR技術を活用した遠隔支援サービスは、指定した対象物以外は映さない「デジタル遮蔽機能[※]」を搭載しており、秘匿性の高い現場で遠隔支援のメリットを最大限に感じていただけます。

1. 背景

人手不足で設備保全が適切に行えていない課題をもつ製造現場において、移動を伴わず現場の状況把握や指示を行える遠隔支援は有効な解決策の1つになりえます。しかしながら、秘匿性の高い製造現場(半導体の製造工場など)で遠隔支援を受けるためには、機密情報漏洩防止の観点から、対象物以外の工場内の情報を遮蔽する必要があり、遠隔支援サービス利用の高いハードルとなっていました。この課題を解決するため、SCSK が保有する対象物以外の情報をマスキングする機能「デジタル遮蔽機能[※]」を搭載した遠隔支援サービスを開発し、スマートグラスによるサービス提供を行っておりましたが、より多くのお客様に気軽にご利用いただけるよう、スマートフォンから利用できるようにしました。

2. 遠隔支援サービスの概要

スマートフォン(またはスマートグラス)を通じた視界共有機能と、音声通話、XR(クロスリアリティ)技術を活用したデジタル遮蔽機能を用いて、秘匿性の高い現場(半導体製造工場など)において、機器の保守・メンテナンスおよび修理対応時に、工場などの現場とサポート拠点を接続し、遠隔での支援を実現します。



3. 導入のメリット

遠隔支援サービスの導入により、迅速な初動対応による設備の稼働率向上、コミュニケーションの円滑化、残業時間の削減、設備の長寿命化、職場環境の改善、教育の効率化、移動が減ることによる環境負荷の軽減など、多様な効果を得ることができます。

4. 今後の展開

お客様のご要望や課題解決に繋がる機能追加を継続的に行い、同様の課題に直面している機器・装置メーカー、機器・装置を使用する企業に対して、提供サービスの充実を図ってまいります。

※デジタル遮蔽機能について

デジタル遮蔽機能は、長年にわたる XR 技術の研究開発を元に SCSK が開発しました。仮想空間上に、指定した対象物と同等の矩形を用意し、現実空間に配置された対象物と重ね合わせて表示されることにより、どの角度からでも、その対象物以外を映さないようにマスキングする技術です。(特許 第 6827134 号)



デジタル遮蔽なし



デジタル遮蔽あり

本件に関するお問い合わせ先

SCSK株式会社

ビジネスデザイングループ

ビジネスデザイングループ統括本部 事業開発部

E-mail: 2020-staff@scsk.jp

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。